

令和4年度 延岡しろやま支援学校 学校自己評価

※ 自己評価の基準 4:十分達成された 3:概ね達成された 2:やや不足な点がある
1:ほとんど達成されていない 0:わからない(無回答) 提出総数 153)名

ビジョン1 「チャイルド・ファースト&チャレンジド・ファースト」を柱とした学校運営	4	3	2	1	0	評価
(1)子どもの権利条約、障害者権利条約の理解促進と人権感覚の涵養を図り、併せてコンプライアンス遵守及び言語環境の整備を図る。	26 17%	103 67%	23 15%	1 1%	0 0%	3.0
(2)校訓及び新しい幼児児童生徒像に基づく教育活動の充実 「表現」 自ら考え、自分らしく表現する子ども(思考力・判断力・表現力等) 「実践」 学んだことを生かし、実践するこども(知識・技能) 「挑戦」 夢をもち、自ら挑戦する子ども(学びに向かう人間性等)	14 10%	129 80%	10 10%	0 0%	0 0%	3.0
ビジョン2 「社会に開かれた教育課程」の具現化を目指した3つの視点(しろやまOPQ)によるカリキュラム・マネジメントの推進 O…Original(オリジナル) 恵まれた教育資源を生かした、本校ならではの教育実践 P…Pride(プライド) 県北のセンター校としての矜持(きょうじ)を示す取組 Q…Quality(クオリティー) 卒業後の豊かな生活を支える生涯学習の推進	4	3	2	1	0	評価
(1)卒業後の視点を大切にしたいカリキュラム・マネジメント ・自立や社会参加の基礎となる意欲と力の育成 ・地域とつながる教育活動 ・幼稚部から高等部まで一貫したキャリア教育の推進	8 5%	115 75%	29 19%	1 1%	0 0%	2.8
(2)複数障がいに対応した特別支援学校教職員としての専門性の向上 ・「基本となる障がいの理解」の徹底 ・OJTの推進と専門的指導力の向上 ・オンライン研修や自主研修等OFFJTの推進と研修機会の充実	9 6%	111 73%	33 22%	0 0%	0 0%	2.8
(3)スポーツ・文化芸術活動の推進 ・コロナ禍における教育活動の工夫と参加・発表機会の充実 ・外部機関連携やICT活用による作品展や校外販売等の推進	20 13%	110 72%	22 14%	1 1%	0 0%	3.0
ビジョン3 子供の学びを支え、可能性を最大限に伸ばす教育環境の整備	4	3	2	1	0	評価
(1)ICT教育の推進と活用 ・1人1台端末の効果的な活用 ・オンライン授業や遠隔授業等を取り入れた教育活動の推進	9 6%	99 65%	45 29%	0 0%	0 0%	2.8
(2)感染症や災害の発生への対応 ・学習指導、生徒指導、災害時対応等の視点で環境整備・校内美化 ・危機管理委員会を中心とした感染症対策や災害時対応の強化	16 10%	125 82%	12 8%	0 0%	0 0%	3.0
ビジョン4 「学校の信頼回復」と「働き方改革」	4	3	2	1	0	評価
(1)「不祥事は絶対起こさない。」という強い覚悟と「高い倫理意識」をもった学校の信頼回復	36 24%	90 59%	25 16%	2 1%	0 0%	3.0
(2)ホームページ、ツイッター、マスコミ等を活用した積極的発信	19 12%	83 54%	42 27%	9 6%	0 0%	2.7
(3)「見える化」やICT活用による事務作業等の効率化と、質の高い教育活動へ向けた「働き方改革」の推進	8 5%	74 48%	67 44%	4 3%	0 0%	2.6